

令和 8 年 8 月 27 日
消 防 庁

「令和 8 年 4 月 22 日に発生した岩手県大槌町における林野火災に係る
消防庁長官の火災原因調査報告書」の公表

消防庁では、令和 8 年 4 月 22 日に発生した岩手県大槌町における林野火災に
おいて、消防庁長官の火災原因の調査を実施したところですが、今般、報告書を
取りまとめましたので公表します。

1 消防庁長官の火災原因の調査

消防法第 35 条の 3 の 2 に基づき、消防長等の要請があった場合及び特に必要があると認めた場合に、消
防庁長官が火災原因を調査できる制度です。

2 調査結果

- ・ 報告書の全文は、消防研究センターホームページに掲載します。
(URL: https://nrifd.fdma.go.jp/research/saigai_chousa_shien/index.html)
- ・ 報告書の概要は、別添のとおりです。



【問い合わせ先】

消防庁予防課

藤本、谷川、矢野

電話：03-5253-7523（直通）

E-mail: yobo_atmark_ml.soumu.go.jp

消防庁予防課特殊災害室

吉田、緑川、高谷

電話：03-5253-7528

E-mail: tokusaishitsu_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくださ
い。

令和8年4月22日に発生した岩手県大槌町における林野火災に係る 消防庁長官の火災原因調査報告書（概要）

令和8年8月27日

予 防 課

特 殊 災 害 室

消防研究センター

火災の概要（小槌、吉里吉里）

（1）火災発生日時等 ※①【小槌】、②【吉里吉里】

- 出火時刻：令和8年4月22日 時分不明
- 覚知時刻：①令和8年4月22日 13時53分
②令和8年4月22日 16時22分
- 鎮圧時刻：令和8年5月2日 13時00分
- 鎮火時刻：令和8年5月29日 13時00分

（2）出火場所

- ①岩手県上閉伊郡大槌町小槌
- ②岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里

（3）林野被害

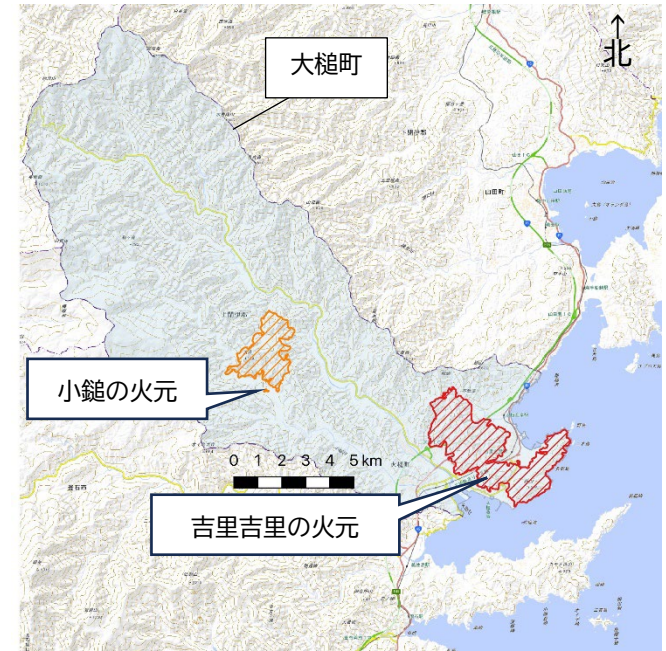
1,708ha（①473ha、②1,235ha）

（4）人的被害

負傷者（軽傷）
2人（避難所における転倒、活動中の消防団員）

（5）住家・非住家被害（7月27日現在）

- ①住家3棟（全焼1、部分焼1、ぼや1）
非住家10棟
- ②非住家15棟



延焼の範囲（国土地理院「地理院地図」）に加筆

オレンジ色：小槌における火災、赤色：吉里吉里における火災。範囲は「第1回大槌町林地再生対策協議会（令和8年6月15日）」資料より転写



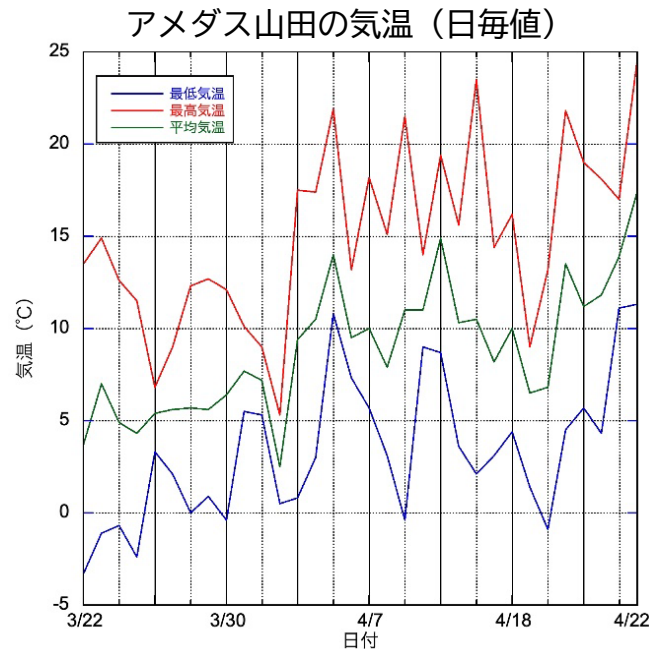
調査の状況



吉里吉里における火災の状況（岩手県防災航空隊撮影4月22日16時50頃）

(1) 火災発生前ひと月の傾向 (アメダス山田)

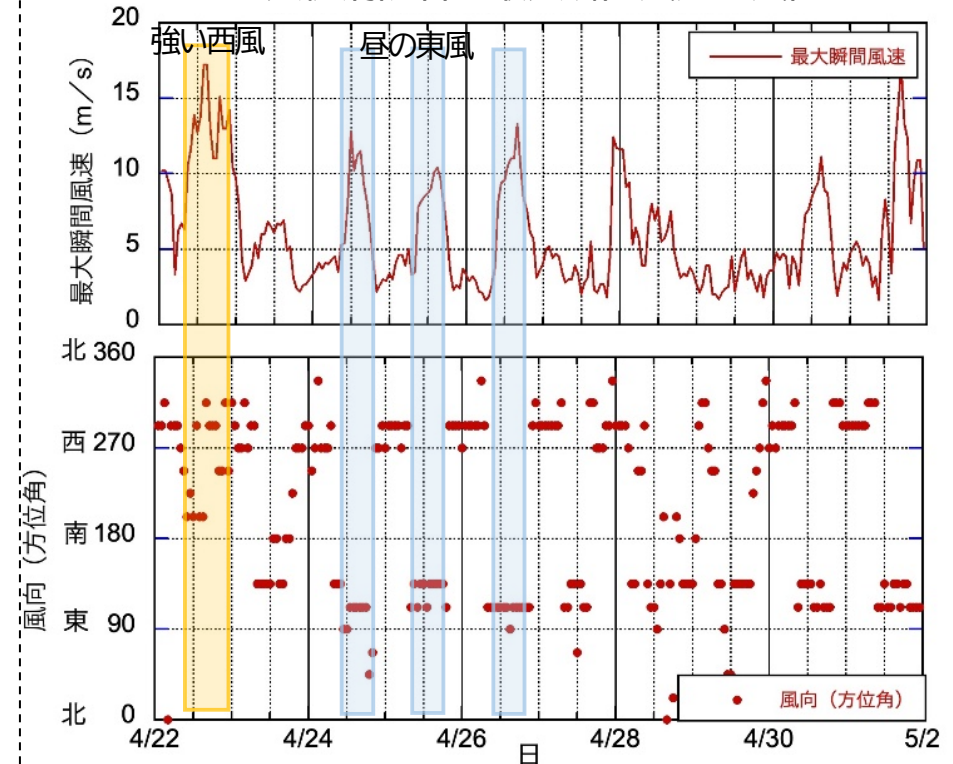
- アメダス大槌で前日に4.5mmの降雨。林野火災注意報は発令されていなかった。
- 出火日も含め気温が20度を超える日が5日あった(下の図)。
- 「例年に比べて積雪が少なく小鎚川の流量が減っていた」(消防団による)
- 4月中旬から最大瞬間風速が大きくなる傾向が見られた。
- 4月22日は湿度が低い日であった。
- 4月22日には、乾燥注意報及び強風注意報が出されていた。



(2) 火災発生後一週間の傾向 (大槌消防署)

- 4月22日は最大瞬間風速17.2m/s (14時07分) の強い西風。
- 乾燥 (14時34分に湿度8.6%) 及び高温 (14時20分に23.7度) が観測されており、フェーン現象の発生が考えられる。
- 24日以降、東～東南の強い風が昼間に吹いた。
- 5月1日に80mmを超える雨があった。

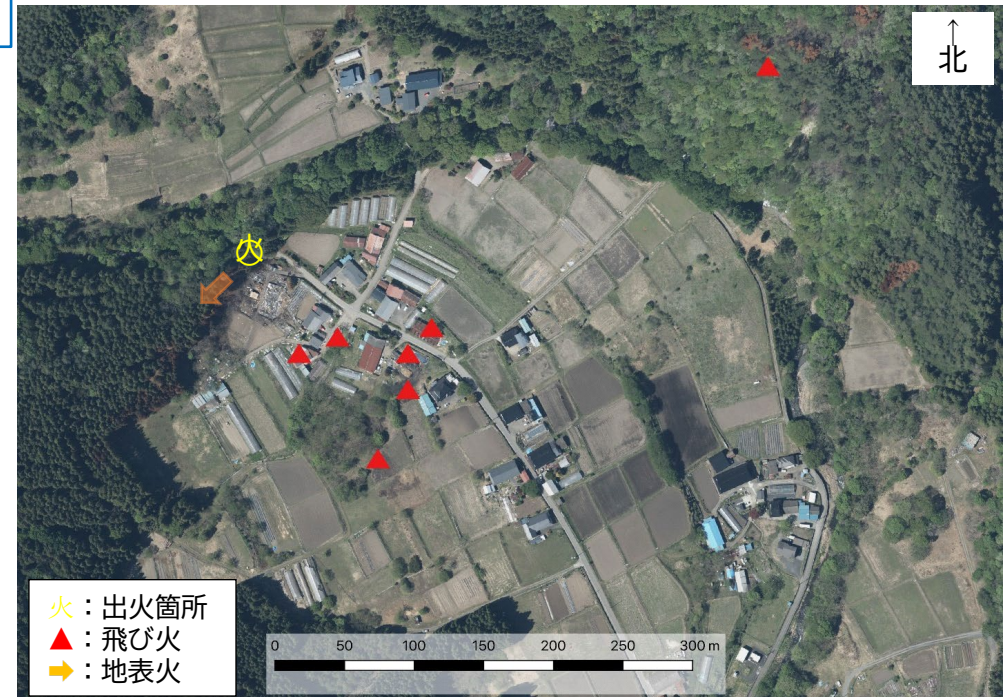
大槌消防署の最大瞬間風速と風向



小鍬の火災原因

- 覚知：22日13時53分（119番）
- 通報内容：道路の法面が燃えています。
- 気象状況（大槌消防署13時50分）
 - ・平均風速：西北西6.3m/s
 - ・最大瞬間風速：西北西14.2m/s

- 通報者の申述、消防隊現場到着時の状況及び焼損状況の見分結果から、出火箇所は小鍬川沿いの道路の法面と判定する。
- 出火原因として、電線、たばこ及び放火について検討した結果、電線からの出火は考えにくく、たばこと放火については確たる物証がないため、出火原因は不明とする。
- 周辺の建物及び西南に続く林内へ延焼した。また、複数の飛び火を発生させた。
- 15時頃に風向きが変わり、小鍬川左岸に飛び火し北側の山中へ延焼拡大した。



吉里吉里火災原因

- 覚知：22日16時22分（119番）
- 通報内容：車で走行中に電波塔付近に煙が見えた。しばらく移動すると炎も見えた。
- 気象状況（大槌消防署16時20分）
 - ・平均風速：西北西2.6m/s
 - ・最大瞬間風速：北北西6.7m/s

- 通報者の申述、消防隊現場到着時の状況及び焼損状況の見分結果から、出火箇所は尾根付近と考えられるが、詳細に範囲を限定することはできない。
- 出火原因として、基地局、たき火、たばこ及び放火について検討した結果、基地局からの出火は考えにくく、たき火、たばこ及び放火については確たる物証がないため、出火原因は不明とする。
- 出火後、尾根沿いに南東へ延焼し、複数の基地局を焼損し、また、北及び南の急な斜面を燃え下った。周辺はマツ、スギ、広葉樹の林になっている。



南斜面（主にスギ）の焼損状況

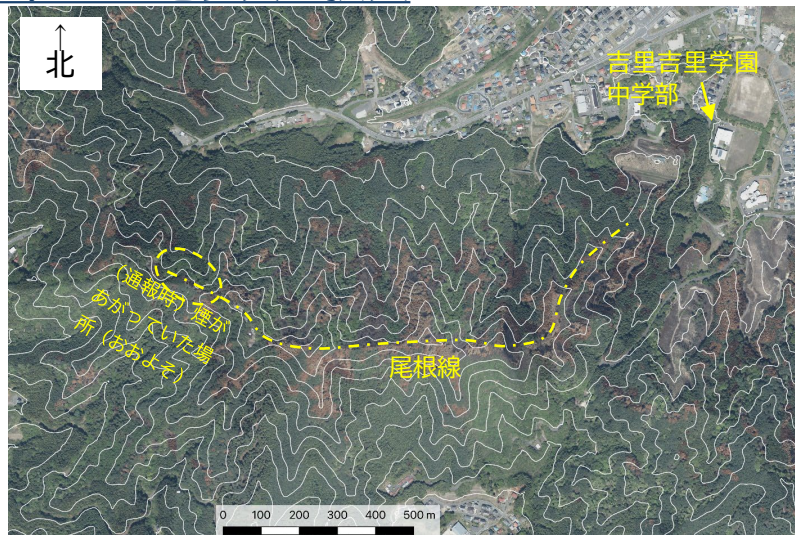


16時50頃の状況（岩手県防災航空隊撮影）



尾根付近（主にマツ）の焼損状況

(1) 主に地表火で拡大



吉里吉里の火元から吉里吉里学園中学部にかけての焼損状況。主に地表火で1.3～1.5kmを約2時間40分で延焼している。(アジア航測株式会社が作成したオルソ画像及び国土地理院数値標高モデル利用)

(2) 急峻な地形の効果



小鋸川沿いの焼損状況。急斜面を転がり落ちてきたと見られる焼損した枝などが積もっている。「枝や松ぼっくりが燃えながら転がり落ちてきて、斜面下方からも火の手が上がった。」



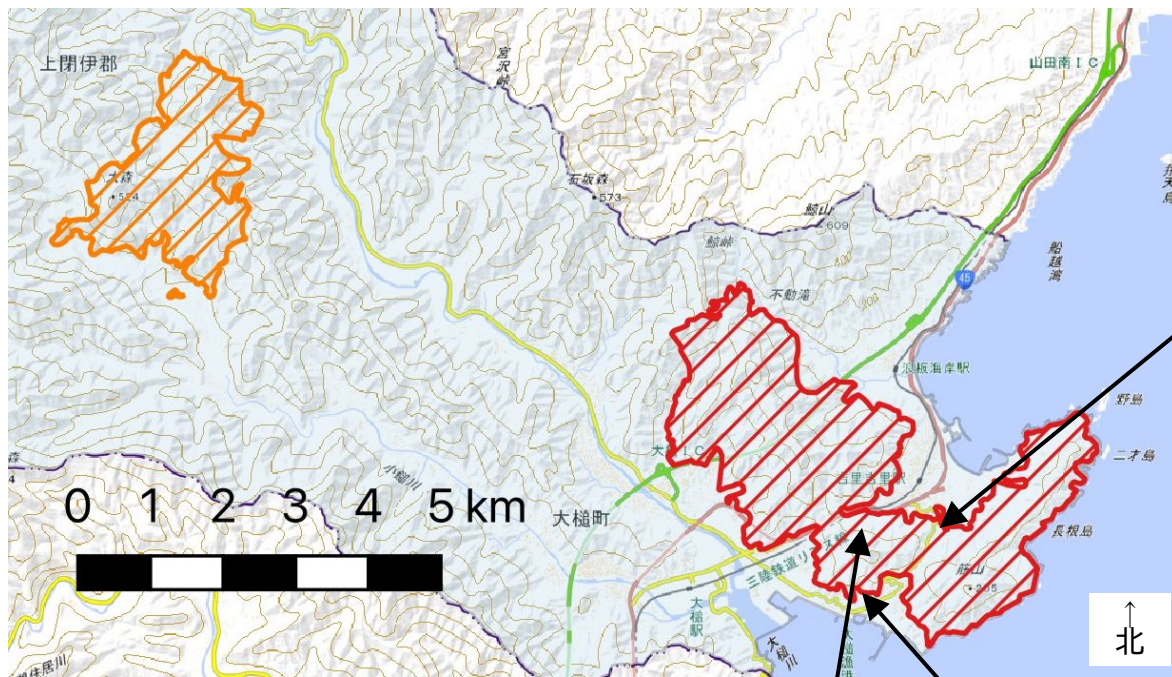
(3) ところどころで樹冠火が発生し、飛び火により急拡大した可能性



【上】沢山地区の北（小鯨山の南西の尾根）において樹冠火が広い範囲で発生した場所（株式会社パスコ撮影の斜め航空写真）。
【下】上の黄丸の場所の地表の様子。この付近は24日～25日に燃えたと見られ、24日昼に吹いた東の風の影響が考えられる。



焼け止まりの状況（消防活動による）



吉里吉里学園中学部の西側の道路における焼け止まり。
4月22日19時前に南から火が迫り、一旦阻止したのち
西からも火が迫ったが、これも阻止した。校舎の側の
立ち木の枝に変色している部分もあった。



平地のスギ林内の焼け止まり。
焼損のない部分は枯れた枝や葉
が柔らかく堆積しており、写真
中央付近で消し止められている。



安渡地区と赤浜地区の間のスギ林内の焼け止まり。最も近い住家まで約30mの地点で消し止めている。

(1) 小釜における火災の出火原因

○出火箇所

通報者の申述、消防隊現場到着時の状況及び焼損状況の見分結果から、**出火箇所は小釜川沿いの道路の法面**と判定する。

○出火原因

電線、たばこ及び放火について検討した結果、電線からの出火は考えにくく、たばこ放火については確たる物証がないため、**出火原因は不明**とする。

(2) 吉里吉里における火災の出火原因

○出火箇所

通報者の申述、消防隊現場到着時の状況及び焼損状況の見分結果から、出火箇所は尾根付近と考えられるが、詳細に**範囲を限定することはできない**。

○出火原因

基地局、たき火、たばこ及び放火について検討した結果、基地局からの出火は考えにくく、たき火、たばこ及び放火については確たる物証がないため、**出火原因は不明**とする。

(3) 延焼及び焼け止まりの要因

○出火日の乾燥と強風

乾燥注意報、強風注意報が出ていた。**乾燥と強風**※の条件の中、スギ林とマツ林を主体とし一部広葉樹林が混じる山中を、地表火を主体としつつ樹冠火も伴い拡大。飛び火も発生するなど、**初期に急速に拡大**した。

※湿度8.6%、最大瞬間風速17.2m/s。フェーン現象か。

○風向の変化

風向の変化に伴い飛び火や延焼の方向・速さが変わったことにより、**多方向へ火災が延焼**した。

○急峻な地形

尾根部に強い燃焼の痕跡が見られる。地中の水分が少ないために林床可燃物が乾燥しやすく、強い風が吹きやすい**尾根部で延焼が速かった**と推察される。また、燃えている枝や松ぼっくりが急斜面を転落することによる斜面下方への突然の延焼も発生した。

○消防活動

相次いで火災が発生し、急速に拡大したにもかかわらず、地元消防本部・消防団始め県内応援隊及び緊急消防援助隊の部隊展開が早く、集落周辺での散水や飛び火警戒などがなされ、一部で水利不足が生じたものの、代替する水利が確保され、**住宅地への延焼を阻止**し得た。